

一 般 質 問

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 戸籍とマイナンバーカード等の氏名の字形について		
	<p>現在、寄居町役場において戸籍や住民基本台帳の業務は、電算化されており、行政手続きの効率化が図られています。しかし、個人の姓名等の記載は、システムによって字形が違っていています。そのため、戸籍の氏名の字形と、住民票等の氏名の字形やマイナンバーカードの氏名の字形の相違をめぐって、窓口での問題が生じているとお聞きします。そこで伺います。</p> <p>(1) 実際の窓口において、氏名の字形の違いについて問合せや苦情の事例等はあるか伺います。</p> <p>(2) 窓口において問題になりやすいものとしてあげられている常用漢字はあるか伺います。</p> <p>(3) 戸籍とマイナンバーカードの氏名の字形の違い等が生じていますが、何か支障等は無いか伺います。</p>		
2. ごみ問題について			
<p>大里広域市町村圏組合の介護保険事務は2030年3月に、全てのごみ処理は2032年3月に共同事務を終了して解散致します。人口減少や企業のDX化等でごみは年々減少していますが、今後の寄居町の対応等を伺います。</p> <p>(1) 家庭ごみの有料化は町民に対してごみ処理コストを監視化して、ごみ減量のインセンティブを提供します。可燃・不燃ごみの有料化になると、分別強化により資源化が拡大をして、住民のごみ減量への関心や意識を高める手段としても効果的だと思いますが町の考えを伺います。</p> <p>(2) ごみのリサイクルには学校等の資源回収が有効的だと思います。</p> <p>①昨今の学校等の資源回収での収益はどうか伺います。</p> <p>②児童生徒減少により、資源回収ができない等の話を聞くことがあります。そこで現状を伺います。</p> <p>(3) 「食べきり協力店」制度のパイオニアである福井県や政令市でいち早く取り組んだ横浜市や「30・10運動」の松本市などの取り組み、埼玉県では所沢市の「食品ゼロの町協力店」、新座市の「にいざ食べきり運動」など各自治体で取り組んでいるところも多いと聞きます。このような取り組みは、食品ロスの削減につながり関心が高まり自治体の生ごみ減量につながるとは思います。寄居町でこのような運動ができないか伺います。</p>			

3. 寄居玉淀水天宮祭について

8月2日、寄居玉淀水天宮祭が盛大に開催されました。

玉淀河原や寄居駅周辺、かわせみ河原などを中心に、約6万5千人の観客で賑わいました。

そこで伺います。

(1) 70周年記念事業のプロジェクトマップの評判について伺います。

(2) 寄居玉淀水天宮祭における主な課題や問題点について、町としてどのように認識されているか伺います。

一 般 質 問

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 議会からの提言について		
	<p>9月の決算審議後、次年度予算に反映すべく、議会で討論された町への提言・要望についてですが、令和7年度予算に向けては、「県北都市間路線バスの寄居駅南口への乗り入れについて」「寄居駅南口のライフ跡地活用について」、6年度では「町道整備の推進について」「ライフ跡地活用について」を喫緊の課題として議会から町へ提言しました。</p> <p>提言の内容は町民と議会の思いを込めたものであり、町として「提言」をどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>(1) 閉会中の特定事件調査報告書による要望の検討はされているのか伺います。</p> <p>(2) 提言についての検討はどのような手順と範囲で行っているのか伺います。</p> <p>(3) 提言は、受けただけでなく、内容によっては議会と町との協業・協議は必要であると考えますが町の考えを伺います。</p> <p>(4) 提言についてはその後、町からの報告については何も報告がありません。これでは意味がないと思いますが町の対応を伺います。</p>		
項目・要旨	2. 移動販売車について		
	<p>食料品などを載せた車両が地域を巡回する「移動スーパー」が、埼玉県内で広がっています。過疎地のみならず、高齢化が進む中、日々の買い物に困る、いわゆる「買い物難民」を支える取り組みとして、多くの自治体で取り入れ、寄居町でも寄り添い事業の一環として、昨年10月から移動販売が始まりました。県内では特に秩父方面で活発に動いているようです。また、この事業は好評のようで、全国的にも様々な形で展開されています。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町では令和6年度、「寄り添い事業補助金」として、事業費2分の1、上限200万円を予算組みしましたが、令和7年度は 予算が計上されていませんが、6年度だけなのか伺います。</p> <p>(2) 町として、現地での反応を把握しているのか伺います。</p> <p>(3) 定期的に訪問することで、移動販売車の役割としての見守りも期待されていますが、地域包括支援センターとの連携・連絡会など行われているのか伺います。</p> <p>(4) 令和6年4月1日現在では、埼玉県内59市町村で取り組んでいるようです。県は先行事例をまとめた研修会を行うなど、自治体の取り組みを後押しするとしていますが、何か県からの対応はあったのか伺います。</p> <p>(5) 現在の運行スケジュールについて、見直し検討はされるのか伺います。</p>		

3. 企業誘致と基幹道路の整備について

新型コロナウイルスの感染拡大で東京都心から移転、都心に向けた輸送の便の良い埼玉県といったことで、交通の便が良く、災害も比較的少ない県内への移転が加速し、企業の移転が目立っています。

そのような中、長瀬町商工会では「日本一安全なまち」と宣言を行いました。安全性をPRすることで企業誘致や移住促進につなげるとしています。

そこで企業誘致をするにはトラック事業の働き方改革から、車両の大型化は必然的であり、道路の整備状況により通行が制限されたりするので、企業誘致に有利な道路の整備をしておく必要があると考えます。そこで伺います。

- (1) 寄居町に新規転入希望企業の職種はどのような職種ですか伺います。
- (2) 寄居桜沢産業団地への進入路において、国道・県道等のアクセスで、問題点になるような要望はあったのか伺います。
- (3) 企業誘致指定するにあたって、道路状況は検討しているのか伺います。
- (4) 企業誘致するためには、どんなことが必要と考えているのか伺います。
- (5) 町として、企業誘致を進めるにあたり道路整備をどのように考えますか伺います。

一 般 質 問

議席番号	2	議員氏名	浅見 玲子
項目・要旨	1. 小中学校の体育館へのエアコン整備について		
	<p>令和6年11月29日付で、文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課より各都道府県教育委員会施設主管課に「避難所となる学校体育館の空調設備の加速化について」という事務連絡が出され、新たに「空調設備整備臨時特例交付金」が設けられています。</p> <p>学校施設は、子供たちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所としての役割を果たすことから、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る事が求められます。避難所となる全国の学校体育館等への空調整備を加速するために必要な経費として、空調設備整備臨時特例交付金が設けられました。</p> <p>この補助金は、令和15年度までに冷暖房設備の設置工事や冷暖房設備の設置と併せて実施する断熱性確保のための工事について工事費の2分の1（下限額400万円、上限額700万円）が補助されることになっています。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町の小中学校の体育館は災害時の避難所として指定されているということですが、この補助金の対象施設という認識でよいか伺います。</p> <p>(2) 小中学校の体育館の空調設備整備の計画について伺います。</p> <p>(3) 令和7年度、補助金の申請をしたのか伺います。</p>		
項目・要旨	2. 保育料の無償化について		
	<p>0才から2才までの保育料が若い世代の経済的な負担になっています。3才からは国の制度として無償化になっていますが、3才になるまで家庭で保育し、その後保育所に預けるとなると、正規社員・職員では働けなくなるなど、保護者のその後の生き方を左右する場合があります。</p> <p>寄居町では第3子以降が無償の対象になっており、第2子は半額となっています。</p> <p>この制度を設けた平成23年時は、まだ3歳児以降も有償で、第3子が0才、1才、2才で入所すると、とても保護者の負担が大きかったことから、他の市町村にはない画期的な制度でした。</p> <p>ところが、国が令和元年に3歳児以降を無償化にしてから、他の自治体では0才から2才までの無償化を進めてきていますが、本町では、1ミリも進んでいません。そこで伺います。</p> <p>(1) 一家庭での子どもの数が1人や2人という家庭では、寄居町の補助制度が十分生かされないのではありませんか、町の考えを伺います。</p> <p>(2) 多子世帯で保育料第3子以降の無償制度が該当している家庭は何世帯ありますか伺います。</p> <p>(3) 以前の補助制度が十分生かされていた頃と比べて現在どのくらいの金額になっているのか伺います。</p> <p>(4) 寄居町も保育料の完全無償化に舵を切るときだと思いますが、町の考えを伺いま</p>		

す。

3. ヤングケアラー・成人の引きこもりについて

埼玉県社会保障推進協議会による自治体要請キャラバンに参加しました。参加者からヤングケアラー・成人の引きこもりについての質問がありました。そこで伺います。

- (1) ヤングケアラーについての実態把握はどのように行なっているのか伺います。
- (2) 担当課の垣根を越えて共通理解、ケアをしていくことが必要と考えますが町の考えを伺います。
- (3) 成人の引きこもりについての実態把握は、どのように行なっているのか伺います。
- (4) 相談・支援の窓口はどこになるのか伺います。

4. 寄居町の文化財について

寄居町の歴史に触れる場所として、鉢形城公園が有名ですが、近代以降の歴史はあまり知られていません。寄居町は秩父事件の際に、一番初めに蜂起したことが、歴史的に知られていますが、町民で知っている人はとても少ない状況です。また、議会だよりに掲載されましたが、戦前に弾薬庫が三ヶ山地区にあったことも知らなかったという声を聞きます。わが町の歴史について知ることは大切ではないでしょうか。そこで伺います。

- (1) 秩父事件の顕彰碑について、町民に周知するため広報誌への掲載、案内板設置などについて町の考えを伺います。
- (2) 弾薬庫跡の建物がかろうじて2棟三ヶ山地区に残っています。地権者がおりますが、戦争遺跡として文化財として残す考えはあるのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	1	議員氏名	里見夕子
項目・要旨	1. 住民参加型リサイクル施策について		
	<p>近年、環境問題への関心が高まる中、自治体における資源循環の取り組みは、単なるごみ処理にとどまらず地域の持続可能性や社会貢献にもつながる重要な施策です。寄居町には彩の国資源循環工場という地域資源があり、これは寄居町にとって大きな強みであると思います。この施設を中心に町民の皆さんが日常生活の中で環境保全や社会貢献に参加できる仕組みを整えることで「持続可能なまちづくり」が進むと考えます。</p> <p>寄居町だからこそできる彩の国資源循環工場の機能を最大限に活かした資源循環の仕組みをつくることで、地域モデル構築へのリーダーシップが図られると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 三郷市では環境省の支援を受けて全国初のペットボトルキャップ資源循環実証事業を実施し、市内公共施設や学校など66ヶ所に専用回収ボックスを設置しています。寄居町でも公共施設や学校・スーパーなどにキャップ専用回収ボックスを設置し、町民の皆さんが気軽に参加できるリサイクル活動を推進すべきと考えますが町の見解を伺います。</p> <p>(2) 更に三郷市ではキャップ回収に加え、学校での出前授業やリサイクル製品の展示などを通じて、子ども達の環境意識を育てる取り組みも行われています。寄居町でも学校や地域団体と連携し、資源循環の意義を伝える啓発活動を強化することで、次世代の環境リーダー育成につながると考えますが、町として学校や地域での資源循環に関する啓発活動をさらに強化する考えがあるか伺います。</p> <p>(3) 家庭で不要になった衣類を回収し、発展途上国の子供達にワクチンを届ける「古着でワクチン」という民間事業があります。この事業は環境負荷の軽減と国際支援を両立する優れた取り組みです。寄居町として民間事業と連携し古着回収を通じた社会貢献の仕組みを導入し、町民の皆さんの参加意識を高めていくべきではと考えますが町の見解を伺います。</p> <p>(4) 令和7年度補正予算においてごみ分別アプリの導入が計上されましたが、本アプリの導入時期および提供開始スケジュールを伺います。</p> <p>(5) 持続可能な社会の実現に向けて食品ロス削減は重要な課題の一つです。特に外食時の食べ残しは日常の中で発生しやすい食品ロスの一因であり、これに対する有効な手段として、令和元年12月議会において先輩議員が提案した「ドギーバッグ」の活用が注目されています。これまでの答弁では、食中毒リスクへの配慮が必要との見解を頂いておりましたが、全国では衛生管理のガイドラインを整備したうえで、地域一体となって「ドギーバッグ」の普及に取り組む自治体も増えてきています。寄居町も地域一体となって食品ロス削減と「ドギーバッグ」の普及に取り組む体制を整えるべきと考えますが町の見解を伺います。</p>		

一 般 質 問

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 寄居駅前のコインロッカーの設置について		
	<p>観光客やハイキングする人達から手荷物を預けたいと思ってもコインロッカーが無いため不便と言う声が多く聞こえてきます。コインロッカーがあれば、荷物を預けて身軽に移動でき、観光スポットやハイキングを快適に楽しめることが出来ます。そして立地条件が良ければ安定した収入源となりえることから利便性を目的とした設置を検討していただくよう町の考えを伺います。</p> <p>(1) 今までにコインロッカーの設置を検討したことがあるのか伺います。</p> <p>(2) コインロッカーの種類は、鍵式、ダイヤル式・ICカード式とあります。設置場所や利用者の状況に合わせて選ぶことが重要ですが、町の考えを伺います。</p> <p>(3) 近隣の駅にコインロッカーが設置されており、街歩きを快適にするための重要な要素となっていることから当町でも導入を考えていただきたいと思います。町の考えを伺います。</p>		
	2. 里山を活用するリトリートフィールドについて		
	<p>里山に残された光景、歴史や文化、自然の風土を守り伝えていくことが大切だと思います。町には四季折々の植物を見ながらトレッキングを楽しめる里山が数多くあります。2024年の厚生労働白書によると、心身の健康に関する最大のリスクとして「ストレス」を挙げた割合は15.6%と20年間で3倍に増えました。リトリート（転地療養）は「いやし」を求める都市生活者の受け皿となる可能性があります。瞑想や自然散策などを通じ、健康に対する意識を高めるきっかけ作りを目的としたプログラムを提供していただけるか、町の考えを伺います。</p> <p>(1) 自然の中、心身リセットできる里山を活用しワークショップができるとと思いますが、町の考えを伺います。</p> <p>(2) メディカルリトリートを始めるきっかけになるのではないかと思います。町の考えを伺います。</p> <p>(3) 町は、リトリートを企画・宣伝することによって、都市生活者の集客と移住のきっかけになるとと思いますが、町の考えを伺います。</p>		
3. DET「障害平等研修」の導入について			
<p>「DET研修」とは、障害者自身が対話の進行役となって障害について学び、差別の解消や合理的配慮のための行動を促す研修です。学校教育の一環として導入を求める声が上がっています。既に導入している学校もあります。障害者を排除しない、インクルーシブな社会づくりのために学校でDET研修を進めていただきたいと思いますが町の考えを伺います。</p>			

- | | |
|--|---|
| | <p>(1) DET研修は、障害のある人もない人も、共に学び、共に成長し、共に社会を変えていくための有効な手段となり得ます。町の考えを伺います。</p> <p>(2) 共生社会の実現と多様性を尊重する心を育むことができ暮らしやすい環境へと変わっていくことを目指すことができます。町の考えを伺います。</p> |
|--|---|

一 般 質 問

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. 通学児童の猛暑対応について		
	<p>今年の夏は気温40度を超え「観測史上最高気温更新」が報道されています。この暑さは、ひと昔前の対策では、命の危険にさらす域まで達しています。最近、テレビやSNSでもよく聞くようになった「こども気温」の言葉は、「地表に近い子どもの身長では、大人が感じるよりも約7℃も暑い」ということを示しています。大人が「今日は28℃で少し暑い」と感じている日でも、子どもにとっては「35℃の猛暑日レベル」の暑さに感じられている可能性があり、大人との体感温度の決定的な違いがあります。</p> <p>「こども気温」は、以下の理由からと生じると考えられます。</p> <p>大人より身長が低いため「地面からの照り返し」、天気予報の気温は、地上1.2m～1.5m、風通しのよい日陰で測定される「気温計の高さ」があります。子どもの身長はそれより低く、地面に近く常に体感温度が高くなる傾向にあります。</p> <p>そこで通学児童の猛暑対応について伺います。</p> <p>(1) 小学生の熱中症は「下校時の方が心配」と聞きます。下校時にはどのような対応をしているのか伺います。</p> <p>(2) 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）と「クールオアシス」を設けていますが、小学生の下校路を対応できているのか伺います。</p> <p>(3) 地域の通学班では、保護者が車を出し交代で下校時に迎えをしていると聞きます。この熱中症対応についてどのようなのか伺います。</p> <p>(4) 静岡県藤枝市、焼津市、岐阜県美濃加茂市では、下校時の熱中症対策として冷却グッズを保管できる冷凍庫の設置を行っています。愛知県蟹江町では、試験的に2校で冷凍庫を導入したところ、子どもたちや保護者、学校関係者から好評の声が上がったため、町内5つの小学校で導入されました。冷凍庫の設置について、当町でも実施できないか伺います。</p>		
	2. 文化展覧会について		
<p>町には、書・絵画・写真・彫刻等多彩な芸術団体があり、定期的に展覧会を開催し町民に芸術により豊かな心を伝えています。会場は、中央公民館、勤労福祉センター（よりの会館）等が主な開催場所です。団体構成員においては高齢化が進み展覧会の準備、撤去「展示パネルの設置・撤去」が大変と聞きます。芸術は、生活に潤いを与えていく活力になります。そこで伺います。</p> <p>(1) 展覧会を開催する団体から「展示パネルの設置・撤去」について何か要望が出ていたのか伺います。</p> <p>(2) 展覧会の準備・撤去に町として「労働力補助」が出来ないか伺います。</p> <p>(3) 展覧会の準備・撤去の際、シルバー人材センターへ依頼した場合に補助金を支出することが出来るのか伺います。</p>			

(4) 展覧会を開催する団体がどんな状況に置かれているのか、話し合い、懇談等をしているのか伺います。

3. 小動物侵入について

男衾コミュニティセンターに、コウモリの侵入があり、忌避剤を使用して追い出しを行っています。コウモリは鳥獣保護管理法により保護されており、捕獲や殺傷すると法律で罰せられます。しかし、コウモリには、寄生虫や病原菌が多く付着しています。マスクやゴーグル、手袋などの装備もなく素手で触ると、寄生虫や病原菌が体に付着し、吸い込んだりするおそれがあるため、非常に危険です。

コウモリ対策には、慎重な対応が必要と考え伺います。

(1) コウモリが、男衾コミュニティセンターに侵入している現場を確認したのか伺います。

(2) 確認後、どのような対策を行ったのか伺います。

(3) コウモリ忌避剤が吊り下げられていますが、忌避効果はあるのか伺います。

(4) コウモリには、寄生虫や病原菌が多く付着していることから、病原菌の拡散になると考えます。SARS(サーズ)やMERS(マーズ)も、コウモリを介して人間に感染拡大しました。専門業者に駆除していただき、男衾コミュニティセンター利用者の安全・安心の確保を早急に行うことが必要と考えますが、町の考えを伺います。

4. 農業者支援について

農業者は、資材、農機等の物価高騰の影響により経営が大変な状況になっています。秩父市では、営農継続支援補助事業として300万円の予算を確保し、農業機械・資材に係る経費、個人農業者(認定農業者)では、5万円以上50万円以下に対し、上限10万円を補助しています。農業法人では、9万円以上100万円以下に対し、上限30万円を補助しています。秩父市の令和5年度の決算では、28件、280万円の成果がありました。農業者を支援し食料自給率向上させるため伺います。

(1) 農業者を支援するために町独自の支援策を行ったことがあるのか伺います。

(2) 農業者への物価高騰対策として、秩父市の営農継続支援補助事業と同等の支援を行うべきと考え、町の考えを伺います。

(3) 農業者支援し食料自給率向上について、どのように考えているか伺います。

一 般 質 問

議席番号	8	議員氏名	権 田 孝 史
項目・要旨	1. 一般家庭の廃食用油回収について		
	<p> 昨年の6月定例会で、同僚議員が「廃食用油の回収について」の一般質問を行いました。私も同じ考えです。私たちが出来る身近な環境問題SDGsにつながる事業の一つだと思い質問をさせていただきます。 </p> <p> 一般的には、多くの家庭では使用済みの食用油は新聞紙や布に染み込ませるか凝固剤で固め可燃物として処理を行っていると思います。まだ自治体回収が少ない中で、寄居町が廃食用油の回収実現に向け積極的な事業化を願い質問をさせていただきます。 </p> <p> 昨年の回答では、「収集運搬及び処理にかかるコスト等について研究を進めてまいりたいと考えております。」との回答でした。そこで伺います。 </p> <p>(1) 収集運搬処理方法はどの様に研究しているのか伺います。</p> <p>(2) コスト面はどうか伺います。</p> <p>(3) メリット・デメリットについて伺います。</p>		
	2. 男衾小学校体育館と他の問題フォローについて		
	<p> 6月定例会で一般質問させていただきました「ステージ下の動物の糞」問題ですが、早い対応を行っていただきありがたいと思えました。 </p> <p> 6月23日にステージ下の片付け、7月1日には専門業者による調査と確認、そして7月31日にはステージ下の清掃と消毒作業の実施報告を8月1日に確認しました。そこで、今後の対策について伺います。 </p> <p>(1) 動物の糞害の侵入経路対策日程について伺います。</p> <p>(2) 「体育館のステージ照明の件」では、「改めて調査してまいります」との回答を頂きました。どのように検討したのか伺います。</p> <p>(3) ペンキ塗り替えはどのような検討をしているのか伺います。</p> <p>(4) 校舎教室の窓の開閉不具合で「学校からの連絡を受け、現地を確認しています」との回答でしたが、対応はどのように行ったのか伺います。</p>		
3. 男衾中学校に設置予定のエレベーターの件について			
<p> 男衾中学校の大規模改修工事が終わり、今年の12月で1年が経過いたします。エレベーター設置の工事日程について、道路と学校のフェンスには工事概要看板が取り付けたままです。そこで伺います。 </p> <p>(1) 現在の工事計画がどのように進んでいるのか伺います。</p> <p>(2) 今後の予定について伺います。</p>			

一 般 質 問

議席番号	1 5	議員氏名	原 口 孝
項目・要旨	1. 汚泥再生処理センター運営について		
	<p>毎年、汚泥再生処理センターにおいて改修工事費や維持管理事業費の増加が見られます。令和7年度の予算では約1億5000万円を計上しています。令和5年度、6年度においても同等な金額が計上され、この事業を継続するのか、私は改新する必要があると考えています。予算削減を目指し削減分を町民サービスに向けることを考え、大きな行政改新をすべきであります。そこで次の質問をいたします。</p> <p>(1) 毎年の維持管理費増と将来へのコスト管理の対応について伺います。</p> <p>(2) 運営方法の考えを変え、区域外流入、下水道計画、都市計画などの見直しなどの要因を含め本下水に接続して処理をしたらどうか、伺います。</p> <p>(3) 私の計算上、少なく見積もっても1億5000万円ぐらい削減できると考えるが、見解を伺います。</p>		
	2. 寄居町単独の介護保険事業について		
	<p>大里広域市町村圏組合の第10期介護保険事業計画の終了をもって広域介護保険事業が令和12年度より町単独事業に移行します。町には寄居町高齢者保健福祉計画がありますが、柔軟性を持った、町の状況に見合う計画を構築すべきであります。もちろん高齢者保健福祉計画に記載されている行動プランを更に進化させなければならないと考えて伺います。ただし、(2)、(3)については、下記の要因を含めた答弁をお願いします。</p> <p>(1) 町単独事業移行まで「あと5年もある」、「あと5年しかない」と町はどのように受け止めているのか、伺います。</p> <p>(2) 介護ビジョン骨子案（政策方針・町単計画・高齢者保健福祉計画を基本にするのか）作成についての取り組みの考えを伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護を取り巻く町の現状と将来課題分析。 ・基本理念、目指す介護像。 ・重点施策（人材育成・在宅支援・ICT活用など）重要課題。 ・介護費用額の将来予想について、軽減措置の考え方について <p>(3) 体制づくりについての考え方、取り組み方を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部共通の介護業務フロー・体制（高齢者保健福祉計画）など、町職員が業務の全体像を把握できるようにするために、新しい課を創設するのか、福祉課内に設置するのか。 ・要介護認定からサービス提供までの流れについて、町単独の提供方法の再構築が必要なのか。 ・地域包括支援センターの役割・連携先などの再確認。 ・町担当部署と外部事業者の役割分担、連携強化と人材育成計画。 		

3. DX推進における行政改革成果について

議会ではタブレット端末を導入し、ペーパーレス議会等を実行し、また議員の連絡や議案内容等、様々な利用が増え利便性を高めています。事務局並びに議員間の意見交換も行っています。町において、無駄な経費と思われるのは郵送作業です。原文作成、コピー、封筒入れ作業、切手代など現代において非効率な業務と考えます。もちろん必要性のある物はあると思います。チャットアプリやタブレット端末の使用拡大が将来主流となります。

例えば議員への連絡も事務局にお願いすれば議員全員に、または議員個人でも連絡できます。このような改革から新しいシステムが誕生します。事務経費の節減に繋がり、また職員の働き方改革にもつながると思います。そこで伺います。

- (1) 年間の郵便料金とその作業の労働時間を金額に換算したら、どのくらいの金額になるのか、伺います。
- (2) DX推進での行政全体での労働時間減について前々年比・前年比を踏まえ答弁をお願いします。
- (3) 業務改革において事務の効率性を高めることにより、事務現場の整理整頓ができると思いますが、町の考えを伺います。

4. 寄居町の小中一貫教育について

寄居町の小中一貫教育とは何か、目指しているところは何か、学習意欲の向上はどうか、子どもたちへの受け止めはどうか、目標に対しての成果はどうか、成績の状況はどうか、教育の質の向上への成果はどうか、校長以下、教職員の対応はどうか、社会変化に対応できる人材育成はどうか、地域における育てたい子ども像とは何か、個性や創造性の育成はどうか、この内容を含めて質問いたします。

- (1) 目指す小中一貫教育の総合的な成果はどうか、伺います。
- (2) 折原小学校・鉢形小学校の統合において、施設一体型、小中連携管理体制、この点に対し統合後、数年を経て教育体制を変更する旨について、議会（文教厚生常任委員会においても）において議員から意見が出ています。そこで伺います。
 - ①その意見・要望に対し町の受け止め方について伺います。
 - ②今後の考え方・推進の方法を伺います。

一 般 質 問

議席番号	5	議員氏名	久 保 鷹 矢
項目・要旨	1. 町民の主体的な参加を促すまちづくりの仕組みについて		
	<p>持続可能なまちづくりには、町民一人ひとりの主体的な参加が不可欠です。しかし、近年地域活動の中核を担ってきた町内会・自治会は、高齢化や担い手不足により活動の継続が難しくなっています。その一方で、既存の枠組みにとらわれず、新しいアイデアで地域を良くしようと挑戦する「チャレンジャー」とも呼べる町民も確実に存在します。</p> <p>こうした町民の自発的な挑戦を後押しし、主体的なまちづくりを活性化させるため、従来の町内会等への支援によって負担を軽減すると同時に、新たな担い手である市民チャレンジャーを発掘・育成し、その活動を資金・情報の両面から支援する仕組みを強化すべきだと考えます。</p> <p>町民が主役となって「明るく楽しくチャレンジ」できる町を目指すためにも、主体性を促す仕組みを作る必要があると確信し、いくつか質問させていただきます。</p> <p>(1) 寄居町の各計画等で示されている優先的な地域課題（高齢者の生活支援、子育て支援、空き家・遊休農地の活用、環境保全など）に直接的に取り組む、取り組もうとする法人や団体に対し、設立費用や初期運営費用を重点的に助成する独自の「地域課題解決型」助成金制度の創設について考えを伺います。</p> <p>(2) 地域のデジタルデバイド対策として地域内のITに詳しい住民、学生などを「デジタルサポーター」として募集・養成する「デジタルサポーター養成・派遣事業」の実施について考えを伺います。</p> <p>(3) 町内会が一部の業務を民間委託しているケースが当町にあるか伺います。</p> <p>(4) 町内会・自治会が実施した魅力的なイベントや、地域課題解決に繋がったユニークな取り組みを対象とし、優れた活動を表彰もしくはそのノウハウや企画内容を広報誌やウェブサイトで紹介・共有する事業の実施について考えを伺います。</p> <p>(5) 「産業振興・起業部門」「文化・芸術振興部門」「環境・景観保全部門」などの部門に分け、多様な分野でのチャレンジを評価の対象とし、町の広報誌やホームページ、SNSで特集し、地域のロールモデルとして広く発信する「地域版まちづくり大賞(仮)」の設立について考えを伺います。</p> <p>(6) 他市の制度に、地域の問題などに関して複数名の市民で課題解決策を議論し、実現可能な施策を行政に提案できる「市民施策提案制度」や事業を行政へ要望するのではなく、市民と行政がそれぞれ持っている力を出し合いながら、役割を分担し、協働して取り組んでいく「協働事業提案制度」があります。そういった事業をモデルとした制度の実施について有効性と必要性を伺います。</p>		
	2. 過去の一般質問から検討状況の確認について		
過去行いました一般質問からフォローが必要だと感じる項目について、現在の検討状況を			

伺います。

- (1) ふるさと納税版クラウドファンディングの導入について
- (2) ふるさと納税業務の委託 について
- (3) 寄居町公式LINEの作成・運用について
- (4) デジタル活用支援推進事業の活用について
- (5) 町独自のデジタル機器講習会や生成AI講習会の実施について
- (6) 移住者・移住希望者へのヒアリングの実施状況について
- (7) 労働者協同組合設立促進の施策について
- (8) 地域通貨を地域活動促進に活用する取り組みについて

3. 寄居町役場及び教育現場での生成AI活用について

昨年も同僚議員から質問がありました生成AIと働き方について、改めて伺います。

この1年で社会の状況は大きく変化し、生成AIは一部の技術から誰もが使う汎用技術となりつつあります。議事録分析、チャット形式の業務引継書など活用できる範囲は様々です。「使わないことによる機会損失」を防ぎ、むしろ町の強みとしていくため、検討状況や利用状況等について伺います。

- (1) 過去の質問時から1年間の検討結果と、今後の具体的な計画を伺います。
- (2) 庁内での公式な利用状況と、導入効果（見込みでも可）について伺います。
- (3) ガイドラインの策定状況と、全職員を対象とした研修の実施状況について伺います。
- (4) AI導入によって生まれる時間や資源を、いかにして町民サービス向上へ還元していくのか、町のビジョンを伺います。
- (5) 教育現場における生成AIの活用について、検討状況や利用状況等について伺います。

一 般 質 問

議席番号	14	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 寄居町立総合体育館・アタゴ記念館にバリアフリー(多目的トイレ)及び冷暖房装置設置について		
	<p>寄居町立総合体育館・アタゴ記念館(通称 総合体育館)は各種スポーツ愛好者、団体、個人球技者にとって中心的な施設であります。さらに災害発生時の町民の指定避難所でもあります。寄居町は地震には強い地盤であります。多くの中間山地を擁し気象の変動により集中ゲリラ豪雨、あるいは線状降水帯の発生による想像もつかない雨量で土砂の流出、道路冠水、崖崩れ、ライフライン寸断等の災害が予想されます。</p> <p>本年は異常ともいえる気象変動で、気温上昇による猛暑、酷暑を体験しました。よって災害発生はいつ起きても不思議ではない現状にあります。</p> <p>総合体育館はスポーツの殿堂、災害時の指定避難所でもありますので、一日も早い多目的トイレ及び冷暖房設備の設置は町民の強い願望でもあります。</p> <p>国でも、避難所となる体育館の冷暖房設備化に予算を計上すると述べられています。このような背景の中、この機会を捉え、当町においても早急に実現に向けての予算化を努力検討すべきと思いますが町の考えを伺います。</p> <p>(1) 概算費用及び設置計画について伺います。</p> <p>(2) 県から今後の動向についての調査や依頼があったのか伺います。</p> <p>(3) 県に設備の必要性について要望活動を起こすべきと考えますが町の考えを伺います。</p> <p>(4) 来年度予算化すべきと考えますが町の考えを伺います。</p>		
	2. 地区公会堂の多目的、洋式トイレの改修及び冷暖房設備の設置について		
	<p>地区の公会堂は区民の集会、各種愛好団体の集い、コミュニケーションの場であり、災害の発生時には一時の避難所として活用されています。</p> <p>超高齢化社会を迎えバリアフリー化、多目的トイレの設置、冷暖房設備は必要不可欠です。区民の要望もありますが予算の関係で実施に踏み切れないのが実情です。この事を考慮し改修費用の助成をするべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(1) 地区公会堂においてバリアフリー化、多目的・洋式トイレ化がされていない箇所について伺います。</p> <p>(2) この現状をどの様に捉えているのか伺います。</p> <p>(3) 公会堂の改修について地区からの要望、相談が寄せられているのか伺います。</p> <p>(4) この事業の推進に向けて予算化すべきと考えますが町の考えを伺います。</p>		

3. ガソリンの暫定税率の廃止に伴い町財政の影響について

国ではガソリンの暫定税率の年内廃止に向けて6党合意がなされ、財源を含め協議が進められている中、秋の臨時国会に向けてガソリンの暫定税率廃止法案が提出されると報道されています。ガソリン暫定税率廃止法案が可決実施されますと町財政にどのような影響があるのか伺います。

- (1) ガソリンの暫定税率廃止について町の見解を伺います。
- (2) 影響額について伺います。
- (3) 減額補正の考えを伺います。
- (4) 町の経済効果にどのように影響するのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 協働の道づくり事業について		
	<p>寄居町は、地域住民が日常生活で利用する「生活道路」などを整備する際に、重機の借り上げなど施工費用の一部を支給する新たな補助金を創設しました。以前は、町が原材料を支給して住民が労力を提供する「道普請（みちぶしん）」方式で整備をしてきました。高齢化などを背景に工事を外注するケースが増えていることに対応した事業です。</p> <p>生活道路は主に歩行者が利用し、住宅と幹線道路をつなぐ役割を担います。未舗装の砂利道などが残っており、放置すると通行に支障が生じる恐れがあるため、住民主体で整備を進めてきました。施工費用も対象とする補助金の導入は県内市町村で初めてです。</p> <p>新設した「協働の道づくり事業補助金」。対象は町内の各行政区で、1件あたり補助額の上限は5万円です。重機のレンタル費用、重機を動かすオペレーターの人件費などの半額を補助しています。</p> <p>令和6年度予算には40件の申請を想定し、200万円を計上していました。また令和7年度からは原材料（コンクリート）支給の上限をなくすなどより良い事業になっていると思います。</p> <p>しかし、近年少子高齢化や物価高騰等により各区の収入減少は明らかです。事業を申請したいが、区からの持ち出しが負担になり躊躇しているとの話も聞いています。より町民が使いやすい事業にするためにはどのようにすればよいか、また、何を変えればよいのか、と考へ伺います。</p> <p>(1) 現在まで、何件の申請があり事業完了は何件あるのか伺います。</p> <p>(2) 事業申請にあたりどのような相談等があったのか伺います。</p> <p>(3) 1回の事業に係る各区の費用負担について把握しているのか伺います。</p> <p>(4) 事業は目標通りに進んでいるのか伺います。</p> <p>(5) 今後、町では補助金の上限額を変更する考えはあるか伺います。</p> <p>(6) 今後、町が考える「協働の道づくり事業」の展開を伺います。</p>		
2. 寄居町の熱中症対策ガイドライン等について			
<p>今年は過去最高の気温を更新するなど、大変暑い夏となっており、熱中症に気をつけるように多くの媒体で注意を喚起しています。</p> <p>寄居町でも毎日のように防災無線で注意を促しています。このような暑い夏になることが、今後も続くのか心配しております。寄居町も大変暑い地域ですから、注意が必要と考えます。</p> <p>各家庭はもとより、子どもたちが多く集まる小中学校は、特に気をつける必要があり適切な行動が重要になると思います。また第6次寄居町総合振興計画後期基本計画、基本目標1、基本方針(2)、基本施策①学校教育と教育環境の充実で5年後の目指すべき姿は学校施設について、児童生徒が安心・安全・快適に過ごせる教育環境の整備を進めるとし</p>			

ています。

このようなことから今後、熱中症対策は重要案件になると考えます。

そこで伺います。

- (1) 今までに町内小中学校で熱中症の報告があったのか伺います。
- (2) 保護者から暑さ対策や熱中症対策などについて、相談等があったのか伺います。
- (3) 現在、熱中症対策としてどのようなことを行なっているのか伺います。
- (4) 寄居町に熱中症対策ガイドラインがあるのか伺います。
- (5) 熱中症計の設置について伺います。
- (6) 現在、暑さ予防での熱中症対策にどのような機器を使用しているのか伺います。
- (7) 今後、状況の変化等により熱中症対策を変更する考えがあるか伺います。

一 般 質 問

議席番号	12	議員氏名	鈴木詠子
項目・要旨	1. ヒアリングフレイル予防について		
	<p>ヒアリングフレイルとは、聴覚機能の低下による身体の衰えの一つを示し、「聴覚機能の衰え」つまり難聴を意味するとともに、難聴によって周囲の関わり合いが大きく変化し、フレイル傾向となってしまうことを意味しています。周囲が聴力の低下に気づかず、この状態を放置するとその他のフレイルと同様に心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ病となるリスクが高まることが懸念されています。難聴の状態を放置してしまうと、地域活動に消極的になるなど、社会的孤立につながる可能性があるため、早期発見と早期介入が重要であり、国や県においても、市町村での取り組みの後押しとなるような支援の強化を始めています。また正しい介入のための専門的な立場からの知見や町の認識も必要不可欠です。</p> <p>そこで当町の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 現在の実施しているヒアリングフレイル対策について伺います。</p> <p>(2) 「みんなの聴脳力チェック」アプリを活用した聴力セルフチェックの実施について伺います。</p> <p>(3) 言語聴覚士による「聞こえ」に関する研修会の実施について伺います。</p> <p>(4) 認知症発症のリスクが高まる難聴対策として、補聴器の補助事業実施について伺います。</p>		
	2. 指定避難所・指定緊急避難場所の取り組みについて		
	<p>(1) 指定避難所の空調対策について</p> <p>令和6年4月から熱中症対策の強化を盛り込んだ改正気候変動適応法が全面施行となり、市町村は、熱中症特別警戒情報が発表された場合、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の開放を義務付けました。近年の台風や大雨の災害は夏から秋に集中し、いざという時の「指定避難所」がクーリングシェルターになっていないことについて町の考えを伺います。</p> <p>①指定緊急避難所のクーリングシェルター全面実施について</p> <p>②町の中心的な避難所となる寄居町立総合体育館・アタゴ記念館の早期整備について</p> <p>(2) 末野公園の指定緊急避難場所としての活用について</p> <p>末野公園は寄居町の都市公園の一つですが、災害時においては、指定緊急避難場所としての指定もされています。しかし、指定緊急避難場所としての訓練や周知は乏しく、有効な活用については多くの課題があります。今後の末野公園における指定緊急避難場所としての活用について伺います。</p> <p>①末野公園を指定緊急避難場所とした経緯について</p> <p>②指定緊急避難場所として活用する場合の課題の認識について</p> <p>③指定緊急避難場所の設置基準に照らし合わせたトイレの設置について</p>		

3. 手ぶら登園の取り組みについて

「手ぶら登園」は保護者と保育士両方の負担軽減となり、子育て支援と働き方改革にもなるとの声があり、近年導入する自治体が増えてきています。またおむつに関しては、持ち帰りの衛生上の問題、感染症のリスクなどの解決にもつながり、アフターコロナでの課題として見直すべき点との指摘もあります。

そこで町の考えを伺います。

- (1) おむつ使用と使用済みおむつの持ちかえりの現状について
- (2) おむつのサブスク（定額制）導入について
- (3) お昼寝用布団の現状について
- (4) お昼寝用布団のレンタルについて